

NAIST-IS-MT

修士論文

ここに題目を書く

XX XX

2016 年 2 月 4 日

奈良先端科学技術大学院大学
情報科学研究科 情報科学専攻

本論文は奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科に
修士 (工学) 授与の要件として提出した修士論文である。

XX XX

審査委員：

飯田 元 教授	(主指導教員)
XX XX 教授	(副指導教員)
XX XX 准教授	(副指導教員)
XX XX 准教授	(副指導教員)
XX XX 助教	(副指導教員)

ここに題目を書く*

XX XX

内容梗概

ここに概要を書く。

キーワード

キーワード 1, キーワード 2, キーワード 3, キーワード 4, キーワード 5, キーワード
6

* 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 情報科学専攻 修士論文, NAIST-IS-MT, 2016 年 2 月 4 日.

*

XX XX

Abstract

Abstract

Keywords:

Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5, Keyword6

* Master's Thesis, Department of Information Science, Graduate School of Information Science, Nara Institute of Science and Technology, NAIST-IS-MT, February 4, 2016.

目次

1.	はじめに	1
1.1.	サブセクション	1
1.1.1.	サブサブセクション	1
2.	おわりに	1
	謝辞	2
	参考文献	3

图目次

表目次

関連発表論文

研究会・シンポジウム

1. XX XX, XX XX, XX XX, XX XX, “XXXXXXXXX,” In XXXXXXXX, XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.
2. XX XX, XX XX, XX XX, XX XX, “XXXXXXXXX,” In XXXXXXXX, XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.

1. はじめに

`\secref{section:intro}` で章番号出す。ここは 1 章

1.1. サブセクション

サブセクションは引用は`\subsecref{section:subsec}` で出力。ここは 1.1 節

1.1.1. サブサブセクション

サブサブセクションまで作れる。`\subsubsec{section:subsubsec}` で引用ここは 1.1.1 節

2. おわりに

引用 [1]

謝辞

本研究を進めるにあたり、多くの方々に御指導、御協力、御支援を頂きました。ここに謝意を添えてお名前を記させていただきます。本当にありがとうございました。

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 ソフトウェア設計学研究室 飯田 元教授には、本研究の全課程において熱心な御指導を賜りました。研究方針だけではなく、研究に対する姿勢、研究者としての心構え、論文執筆、発表方法についても多くの御助言を頂きました。心より厚く御礼を申し上げます。

参考文献

- [1] Hoge Hoge and Fuga Fuga. Abc def ghi jkl mno pqr stu vwx yz. XXXXXXXXXX, Vol. XX, No. XXXXXXXXXX, pp. XX–XXX, 2015.